



上時機可也

相見昨日一と相違
 此心今も然り就重報
 欄内一頁洋紙の面は
 堂貴業志は余一政
 党内閣中一着の組織
 とは重なるが其れは或
 り其れを以て向てぞと
 懐の事共々、この有法
 坐す事おのれは其
 こと中いつく時代も難
 事半友非難一義に付
 念と用の上も其れを
 此之分は法より千の力
 積むるは法を以て
 此の海運に能く
 何れも其れを以て
 今も其れを以て
 此の事共々、此の
 載す事共々、此の
 先、右と申す
 二相共々、角田
 大隈伯殿

角田真平書簡 大隈重信宛

明治31年6月27日

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library 114-B294(5)

